



清涼な自然が織りなす

長木溪流

市では観光開発基本構想に基づいて、昭和五十九年度から長木溪流周辺整備事業に着手しており、現在までに、小坂鉄道と大館地区牧野組合の協力を得て、清風荘付近の渓谷の下刈りや遊歩道整備、展望橋や看板、あづまやの設置などを進めてきました。渓流を見るには、どうしても小坂鉄道の線路を横断しなければならず、危険であるうえに列車運行にもさしさわりがあるため、景色のよいところに展望橋を設置しま

す。

流れ、四十八滝と表情を変える渓流は、両岸の樹木や周囲の山々で四季折々に美しく彩られます。

たあたりから長木溪流を眼下に見ることができます。

コマリヤの流れ、メラシの流れ、あづまやの流れ、ヘラ渓流と、一ノ渡、二ノ渡を越えたあたりから長木溪流を眼下に見ることができます。

（県道大館十和田湖線）を大館から小坂町方向に進むと、一ノ渡、二ノ渡を越えたあたりから長木溪流を眼下に見ることができます。

十和田大館樹海ライン

清風荘付近図



した。展望橋は景色との調和を図るために、茶色に塗装し、歩行部分には木を使用しています。今年度は、がけで遊歩道がつながれない部分（展望橋より八戸側）に約五十㍍に鉄骨製の歩道を設置する予定です。これができるとともに、四十㍍の遊歩道になります。今後は、駐車場の整備やバスの待合所、トイレ、ベンチの設置、遊歩道の延長も検討しています。

内田铸造所秋田工場は、二井田字二台地内の私有地一万九百平方㍍を借り受けて、一千四百四十平方㍍の工場を建設します。今年九月に敷地造成工事に入り、来年四月には工場建設に着手、同年十月から操業開始の予定です。資本金は一千万円で、投下資本は三億七千七百万円。第二期工事として、平成六年に一千四百四十平方㍍の



内田铸造所秋田工場

21番目の誘致企業 二井田一台へ

株式会社内田铸造所秋田工場は、埼玉県川口市に本社をもつ製袋機部品、印刷機フレームなど一般機械用鋳鉄、鋳鋼メーカー「株式会社内田铸造所」の直轄工場です。大館工業団地（二井田）で操業している大館ニユーロング工業株式会社など、ニューロンググループを主要取引先としています。同グループからの需要の増大に対応し生産拡大を図るため、ニューロング工業のある当市に進出することになりました。

従業員は、操業時二十一人（男子十六人、女子五人）、平成四年四月に二十五人（男子十九人、女子六人）、将来は五十一人（男子三十四人、女子十七人）規模とする予定です。年間生産額は、初年度（三年十月～四年三月）九千六百万円、四年度二億四千万元、将来は四億九千万円を見込んでいます。

工場を増設する計画になっています。